

# 地域創造科目

Yokohama National University Graduate sub-major program  
Creative education program about local problems

シラバス 2022  
2022 Syllabus

YOKOHAMA

最新の詳細情報は下記サイトをご確認ください。  
<https://www.chiki-ct.info/sozo>

オリエンテーション  
4月14日(木)  
12:10-12:50



## 修了者からのメッセージ

Shunnosuke NAGASE  
長瀬 駿之介

理工学府 機械・材料・海洋系工学専攻  
海洋空間システムデザインユニット  
航空宇宙工学教育分野



「自身の専門(航空宇宙・ドローンシステム)を、ローカルな社会課題解決に活かしていく力を身につけたい」という想いから、地域交流科目(学部)・地域創造科目(修士)を受講させて頂きました。地域創造科目では、社会課題へのアプローチ手法に関する具体例を通じた実践的なレクチャーを受講することができ、バックグラウンドの異なるメンバーと共に地域課題の調査から解決まで、一連のプロセスを実践する協同ワークを経験できました。そして、副専攻プログラムの履修を通して、「専門の講義だけでは習得できない統合的な視野」と、「それに基づきつつ自身の専門性を活かしていく実践的な課題解決力」を身につけることができました。

- コア科目： 地域創造論
- 専門型関連科目： 沿岸域管理の法制度  
海洋政策と法制特論  
リスクマネジメントと社会技術  
リスク社会とコミュニケーション
- 実践型関連科目： 人文地理学演習 I

## ブックレット

HP (<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>)からダウンロードできます。

### 地域創造論 Vol.3

～地域はどう変わるか 2010年代から2020年代に向かって～

大学院の副専攻プログラムのコア科目として開講されている「地域創造論」の、2018年から2020年度のテーマは、「地域はどう変わるか 2010年代から2020年代に向かって」でした。本著は、その講義録をまとめたものです。



地域はどう変わるか  
2010年代から  
2020年代に向かって

政策科学と政策形成 小池 治 / 持続可能な都市とモビリティシステムー COI プログラムによる横浜国立大学の取り組みー 有吉 亮・西岡 隆暢 / 都市におけるエネルギーリテラシー 濑谷 忠弘 / フラットで双方向的な世界へ：「地域間協力(連携)」の構想と取り組み 佐藤 峰・奥井 利幸 / 震災とコミュニティ-大熊町を事例として- 吉原 直樹 / SDGs 未来都市・横浜の挑戦と「ヨコハマ SDGs デザインセンター」のこれから 信時 正人 / 2035年に当たり前に木材のある社会を目指して 井上 博成 / 2020年代に向けた大学と地域～羽沢横浜国大駅開業を前に 高見沢 実 / 2020年代に向けたヘリテージマネジメントの課題 大野 敏 / 地域創造とEBPM～森林の多面的機能を事例に～ 小池 治 / SDGs 達成に向けた県の施策形成 清水 信宏 / 地域経済とまちづくり(ディスカッション) 氏川 恵次・池島 祥文・伊集 守直・志村 真紀 / モビリティ～Maas+デジタル化による地域像+コロナ～ 中村 文彦 / エネルギー環境と都市(ディスカッション) 吉田 聡・野原 卓・田中 稲子 / 新型コロナと都市計画：「新近郊」論に向かって～新型コロナ感染後の新たな社会を展望する～ 高見沢 実

## 『地域創造科目』の概要

### 全体概念

現代社会において、経済格差や教育格差の拡大、工業倫理の低下や環境問題の深刻化など、住民生活の継続や地域社会の存続に支障をきたし始めています。これらの諸課題は複雑に関連しつつ、事態を深刻化させていることから、社会、教育、工学、環境など各視点から諸課題を検討し、人々が安心して豊かな生活を営めるような地域を創造することが求められています。

本プログラムは、複雑で解決困難な地域課題に対して、各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながらも、学際的な課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できるような人材を育成するための高度な教育プログラムです。

### General overview

In modern society, issues such as the increase of economical and education gaps, decrease in industrial ethics and intensification of environmental problems are beginning to interfere with the sustainability of local residents' lifestyles and continued existence of the local community. These various issues are complexly interwoven with one another, intensifying the situation and as such, need to be investigated from individual aspects such as society, education, engineering, the environment and so forth, in order to create a community in which people can lead rich lives with peace-of-mind.

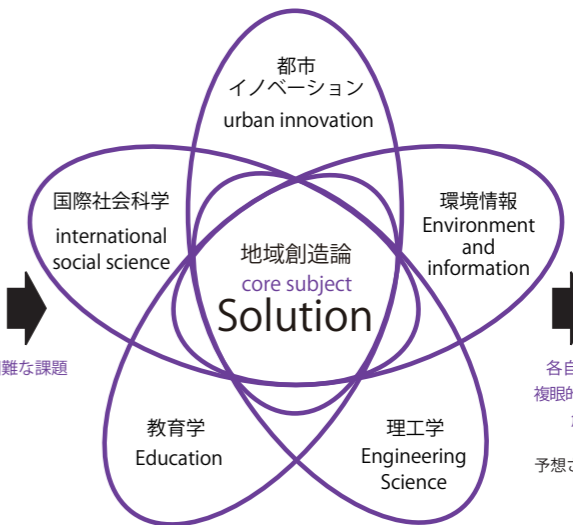
Towards complex, intractable community issues, this program takes a theoretical approach from the individual fields of expertise, and is a sophisticated educational program which aims to produce individuals who possess the ability to appraise issues from an interdisciplinary approach and propose comprehensive solutions.

### \*副専攻プログラムとは：

知識基盤社会が求める総合性・学際性への対応、また学生からのニーズへの対応として、自ら所属する専攻以外の分野を系統的に学習するプログラムです。

### \*About sub-major program:

Responding to the comprehensive and interdisciplinary abilities sought by a knowledge-based society as well as responding students' needs, this program enables the systematic learning of fields other than one's own affiliated major.



Problem → 地域における複雑で解決困難な課題

→ Vision

各自の専門性を活かしながら、複眼的な視野で地域のビジョンを創造できる力をつける。

- 予想される将来の進路・人材像
- ・国内外 行政関係
  - ・コンサルタント
  - ・建築家
  - ・まちづくり、NPO
  - ・地域プロデューサー
  - ・研究者、教員
  - ・会社経営者

各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながら、学際的に課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できる力をつける。

複雑で解決困難な地域課題を題材に

各専門分野の活かし方を発見し開拓するプログラム

This program trains students to find and develop their own specialties in the local subject in which solutions are complicated and difficult.



